

8月27日（水）

## ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑並びに日本館訪問

午前10時、イビラブエラ公園内にあるブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑を訪れた。当初予定のジェトロサンパウロ事務所訪問については、大阪市代表団の市職員が訪問する形で役割分担することとし、前日、現地報道機関の取材対応時の指摘も踏まえ、こちらのほうは田中副市長と市会代表団で訪問することとした。

現地では、在伯大阪なにわ会の山本副会長にも御出席いただき、初めに慰霊碑、続いて慰霊碑裏の地下にある仏壇を参拝した。



ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑前にて

の体験ができるなど、随所に日本の風情が感じられる施設となっていた。

続いて、同公園内にある日本館に向かい、館内の見学を行った。日本館周辺には日本をイメージできる松や桜の木が立ち並び、皇太子殿下や安倍総理大臣が訪問した際に建てられた札など、日本館に入る前から日本の情緒を感じさせる施設となっていた。また、日本館自体も日本の建築物の要素をふんだんに用いており、2階からは鯉が泳ぐ池に向かってえさや

館内見学後、在伯大阪なにわ会に向かった。

## 在伯大阪なにわ会との意見交換会

午後0時15分、少し遅れて現地に到着した。

在伯大阪なにわ会は1965年8月に設立された、ブラジルへ移住した日本人の権益を擁護することを目的とした団体である。

現地への到着が遅れたこともあり、昼食を交えながらの意見交換となった。

まず、在伯大阪なにわ会を代表して下平尾会長から大阪・サンパウロ姉妹都市提携45周年を祝って、歓迎のあいさつがあった。

次に、田中副市長並びに床田市会議長があいさつを行った。

（田中副市長あいさつ要旨）

これまでのブラジルでの日本文化の普及・啓発に取り組まれていることに敬意を表す。きょうは大阪観光局が作成したDVDを持ってきたので、ぜひ活用してほしい。

現在、日本では阪神タイガースとオリックス・バファローズが大変好調で、秋には在阪球団による日本シリーズが見られるかもしれないと期待している。もし日本シリーズが実現したらDVDもすぐ更新してお渡ししたいと考えている。

大阪なにわ会の益々の発展を祈念申し上げる。

(床田市会議長あいさつ要旨)

温かく歓迎していただきお礼申し上げます。

本日、イビラブエラ公園内の開拓先没者慰霊碑に参拝してきた。そこでブラジルの友好関係を強めていくことを誓ってきた。

大阪なにわ会の皆さんには大阪市会からの代表団や視察団が何度も世話になっており、大変感謝している。

平成6年の姉妹都市25周年の時も歓迎会をしていただいたが、その時の団長が私の父、床田健三である。その時の写真が自宅で見つかったので本日持参した。のちほどご覧いただきながら当時を懐かしんでいただければと思う。

皆さん方のお力添えによって45周年という年月が積み重なってきたと考えており、サンパウロの地で皆さんとお祝いできることを心から嬉しく思う。

今月初めに安倍総理大臣がサンパウロを訪問した際も、「日本とブラジルは日系人の皆さんのおかげで魂と魂の会話ができる」と言っていた。

これからもいついつまでもこの関係が続いていくように、我々も礎となって、次の世代につないでいく決意である。日本とブラジル、大阪とサンパウロが益々強固な関係を築けるよう協力して取り組んでいきたい。

これからも日本とブラジルの懸け橋となっていただくことをお願い申し上げます。

このあと、在伯大阪なにわ会の松岡副会長の乾杯発声で昼食会に入った。

## サンパウロ市議会表敬訪問

午後2時、サンパウロ市議会に到着した。サンパウロ市議会は市役所から少し離れたところにある。市議会の玄関ホールには市役所のような機械式のゲートはなく、開放的な雰囲気であったが、議員専用のエレベーターの前には警備員が常駐し、エレベーター内では女性職員が椅子に座ってエレベーターの操作を行うなど、それなりの警備態勢を敷いてい



意見交換の様子

る印象を受けた。

8階の議会応接室にて、まずサンパウロ市議会の日系人議員であるポリセ・ネット議員、アウレリオ・ノムラ議員、ジョージ・ハトウ議員、マサタカ・オオタ議員らと意見交換を行った。

主なやり取りは以下のとおり。

- ・サンパウロ市役所は玄関ホールに機械のゲートがあって物々しい雰囲気、市民から遠いイメージを受けたが？  
⇒サンパウロ市の人口は1千万人を超えており、それだけの人間が市役所を訪れるとパンクしてしまう。サンパウロ市には32人の副市長がおり、市民は自分の居住する地域を所管する副市長がいる庁（日本の区役所にあたる）に相談に行くから、市役所に市民が行く用事はほとんどない。
- ・サンパウロ市議会に市民が陳情する場合はどうするのか？  
⇒議員はそれぞれ担当する地区及び所管する部署があり、市民は自分の言いたい内容を担当している議員のところに直接出向いて相談するのが一般的である。
- ・議員一人に充てられるスタッフの人数はどれくらいか？また、その費用は公費で賄われているのか？  
⇒公費で賄われるスタッフを20名まで雇うことができる。多いと思われるかもしれないが、市域が広大でかつさまざまな問題を議員1人で対応することは困難であり、スタッフをそれぞれ現地へ派遣し、調査活動や会合に出席させるなど、議員に与えられた職責を果たすためには必要な人数である。なお、スタッフの雇用については議員が行うので、任期という考え方はない。
- ・公共交通の整備状況はどうか？  
⇒市域が広く、公共交通が発達していない地域もまだまだ多く、移動に時間がかかることもあるので、ぜひ大阪を参考にさせていただきたい。招待いただけるならぜひとも訪問したいと考えている。
- ・在伯大阪なにわ会とは交流があるのか？  
⇒アウレリオ・ノムラ議員の父が下平尾会長とともに設立当初から関わってきており、現在も毎週カラオケ大会が行われているので私たちも出席している。
- ・4人の写真が並んでいるのをいたるところで見たが、あれは選挙ポスターか？  
⇒同じ政党の人間を並べている。それぞれ大統領候補、代議院議員候補、州知事候補、州議会議員候補である。選挙は2年おきにあり、来年は市議会議員選挙がある。

続いて、表敬訪問を記念して芳名録に各議員が記帳したのち、議員の執務室並びにスタッフルームを見学した。

## サンパウロ市議会本会議出席

午後3時、1階の議場に移り、本会議に出席した。

サンパウロ市議会の本会議の運営は、通常、内容ごとにグループ単位で分かれて諸問題の審議をしている（本市会の委員会のようなもの）。そのグループで結論が出た議題について、本会議に上程されることとなる。本会議には当該グループが出席し、議案の内容について他の議員に説明し、質疑・討論を経て採決に至る。議員定数は55名であるが、グループ単位での議論が中心となることから本会議に全員が出席することのほうが少ないとのことであった。

日本の市議会のように執行部として市の職員が説明するのではなく、本会議は議員同士で議論する場となっており、日本の国会審議のように感じられた。

また、会議をしているのかと疑いたくなるほど人の出入りが激しく、報道関係者、市議会の職員、市議会議員、傍聴見学者などが議場内に入り混じっていることから、日本の議会とはまったく異なる文化を感じさせられた。

当日は、床田市会議長が議場であいさつを行うということで、サンパウロ市議会議員のうち、日系の方を中心に20名程度が出席していた。

（床田市会議長あいさつ要旨）

このたび、記念すべき大阪・サンパウロ姉妹都市提携45周年に、貴市を訪問できましたことを大変嬉しく思う。このようなごあいさつ申し上げる機会を与えていただき、深く感謝の意を表する次第である。

実は、20年前の25周年の時に、大阪市会の代表としてこの場であいさつをさせていただいたのが私の父、床田健三であります。親子2代でこのような名誉を授かり、誠に光栄である。

両市の45年間にわたる交流の歴史は、学術交流や技術交流、スポーツなど多くの分野において活発に展開され、両市民の絆を深めながら友好親善を図ってきており、このような貴重な交流の歴史と成果を誇りに思い、さらに発展させていかなければならないと考えている。

けさ、イビラブエラ公園内の開拓先没者慰霊碑を参拝し、日本とブラジル、大阪とサンパウロの友好関係を強固にしていく礎となることを強く誓ってきたところである。



議場であいさつをする床田市会議長

今後、自治体の相互交流がますます重要なものとなる中、議会の相互交流の必要性も今後、より一層高まっていくものと考えており、このような機会を設けていただき、心より感謝申し上げますとともに、こうした交流が両市議会のさらなる発展、ひいては両市の円滑な市政運営ならびに市民生活の向上に、かならずや寄与するものと確信している。

最後に、ジョゼ・アメリコ市議会議長はじめ、皆様方に深甚なる感謝を申し上げ、ぜひ大阪市会議場にも足をお運びいただき、ご挨拶を賜る機会が訪れることを期待している。

床田市会議長のあいさつを受けて、サンパウロ市議会の出席議員がそれぞれ歓迎の討論を行った。いずれも大阪とサンパウロの友好関係を喜び、市会代表団の訪問を歓迎する内容であった。

討論の時間が思った以上に長く、終了したのが午後4時30分頃となった。このあと見学に向かう予定の日本移民資料館の閉館が午後5時ということもあり、移動時間を考慮した結果訪問を見送り、視察行程を終えることとした。

## おわりに

7日の行程のうち、現地で活動できたのが3日間と、移動に費やす時間が多かったものの、サンパウロ市は活気あるまちであった。治安が悪いという警告は事前に受けていたが、宿泊した場所が官庁街で比較的治安がよい場所であったため、大きなトラブルに遭遇することもなく行程を終えることができた。

滞在時間が短いため、大変多忙なスケジュールであったものの、現地での意見交換や表敬訪問などを経て、現地で大阪とサンパウロの友好関係のために尽力していただいている団体との交流を深めることができ、さらには彼らに行政としてどのような支援ができるのかを議会人としての目で確認できたものと考えており、5年後の姉妹都市提携50周年に向けて、いささかなりとも役割を果たすことができたのではないかと思う。

最後に、今回の海外出張に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になった大阪・サンパウロ両市の関係者の方々に心からお礼申し上げたいと思う。